

第1章 10年間のできごと

十勝飛行場周辺の航空法にかかる支障木伐採と再整備

自衛隊の撤去要請

陸上自衛隊帯広駐屯地の十勝飛行場の周辺にある市有地約6haの樹木の一部が、航空法の高さ制限を超えるととして、陸上自衛隊帯広駐屯地から平成17年9月14日付けで「帯広の森」の樹木を含む2,196本の撤去要請があった。

その内容は、全体で19種類の樹木があり、主なものはシラカバ589本、チョウセンゴヨウマツ403本、カラマツ252本、トドマツ185本、ドロノキ181本、カシワ160本、ヤナギ144本、その他282本となっていた。

所管別では、みどりの課（当時：公園と花の課）が所管する帯広の森には、チョウセンゴヨウマツ403本、シラカバ306本、カラマツ231本、トドマツ184本など15種類、1,571本が存在していた。そのほかでは、スポーツ振興室（当時：スポーツ課）が所管する南町球場、南町テニスコート周辺のシラカバ、ヤナギなど11種類495本、水道課（当時：水道施設課）が所管する南町配水場内のイタヤカエデ、サクラなど6種類、64本、契約管財課が所管する滑走路西側の市有地のシラカバ、ナラなど7種類65本などであった。

帯広の森に係る支障木は、最大樹高で30mに達するカラマツから最小3mのハルニレまでの範囲で、平均樹高は約14mであった。最大突出高は、帯広の森に存在する11.47mのカラマツで、平均突出高は、3.58mとなっていた。

なお、障害物の撤去要請は、平成14年11月に1回目の要請があり、この時の立木は全体で1,396本、そのうち帯広の森は889本となっていた。その後、樹木の成長や、航空法が改正され進入表面の高さ制限が厳しくなったことで、800本の増加となった。



第2回市民植樹祭による植樹区

伐採要請のあった地区の当時の状況

伐採要請のあった平成17年度現在での航空法による支障木の範囲は約6haとなっている。

このうち、植樹祭により植樹した植林地が約2.8ha、自然発生した樹木やカラマツ林の旧防風林など地区が約3.2haとなっており、植樹祭による植林地は、第2回（s51）、第7回（s56）、第12回（s61）の市民植樹祭でトドマツ、チョウセンゴヨウ、シラカバなどを植樹している。また、植樹祭による植林地以外の地区は、主に滑走路進入部付近で、自然に生えたヤナギ、シラカバ、ドロノキなどが自生していた。



撤去要請を受けた箇所（第12回市民植樹祭による植樹区）

支障木の主な樹種及び調査年による本数の比較

支障木の位置	所管課	主な樹種	支障木の本数（日付は調査年月日）		
			H21.7.27	H17.9.14	H14.11.5
帯広の森	みどりの課	カラマツ、シラカバ、カシワ、トドマツ等15種	2,105 本	1,571 本	889 本

（参考）帯広の森以外の箇所

南町球場、南町テニスコート周辺	スポーツ振興室	シラカバ、ヤナギ、ドロノキ等11種		495 本	428 本
南町配水場内	水道課	イタヤカエデ、サクラ等6種		64 本	31 本
滑走路の西側の市有地	契約管財課	シラカバ、ナラ、ドロノキ等7種		65 本	48 本
西十号の街路樹	管理課	トウヒ		1 本	
	計			2,196 本	1,396 本

支障木の内訳（平成17年9月14日現在）

支障木の位置	所管課	立木の種類（本）	最大（小）樹高	平均樹高	最大突出高	平均突出高
帯広の森	みどりの課	チョウセンゴヨウマツ（403）、シラカバ（306）、カラマツ（231）、トドマツ（184）、カシワ（158）、その他（289）	最大30m （カラマツ） ～最小3m （ニレ）	13.87m	11.47m （カラマツ）	3.58m

（参考）帯広の森以外の箇所

南町球場、 南町テニス コート周辺	スポーツ 振興室	シラカバ（254）、ヤナギ（101）、 ドロノキ（89）、その他（51）	最大12m （ナラ） ～最小6m （イタヤカエデ）	11.20m	11.89m （シラカバ）	2.91m
南町配水場内	水道課	イタヤカエダ（35）、サクラ（18）、 その他（11）	最大18m （イタヤカエデ） ～最小4m （シラカバ）	8.04m	9.01m （イタヤカエデ）	1.21m
滑走路の西側 の市有地	契約 管財課	シラカバ（29）、ナラ（19）、 ドロノキ（12）、その他（5）	最大18m （シラカバ） ～最小4m （シラカバ）	12.32m	9.16m （シラカバ）	3.18m

- ・森林構成及び支障木区域、本数は以下のとおり。
植林地（植樹祭） 約2.8ha、828本
未植林地（自然木、一部植林） 約3.2ha、743本
（カラマツ防風林126本）



撤去要請を受けた箇所（第2回市民植樹祭による植樹区と自然林）

伐採に至る経過

※H17.9.14付

陸上自衛隊十勝飛行場の支障物件の撤去について（要請）あり

※H17.10.25

陸上自衛隊帯広駐屯地業務隊において協議。支障木の立木補償の整理（範囲等）の協議を継続的に進め、今後、支障木の処理進めていく方針を確認。

※H17.12.26

定例記者会見で市長は、長期の管理計画を作り、整合性をとる必要があると述べた。

※H18.1.26

市議会建設委員会に抵触問題を報告。「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり検討会」で具体策を考え、適正な管理を基本とする考えを示した。

※H18.2.17

緑化審議会に抵触問題を説明。市民検討委での協議、自衛隊との交渉などを経て一部伐採の可能性もある事を報告

※H18.3.28

有識者等8人による「第1回十勝飛行場周辺の帯広の森づくり検討会」を開催。森の生態系を崩さない形で樹

木を更新していく旨の基本方針をまとめた。

※H18.9.29

第4回検討会開催。提言書の取りまとめ

※H18.10.10

検討会座長から市長に提言書を提出。

※H18.11.14

提言書を踏まえ「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり計画書」を作成、緑化審議会に報告、了承される。

※H18.11.20

市議会建設委員会へ「同計画」を報告。

※H18.11

定例の間伐業務に伴い支障木52本伐採（第7回区）。以降、平成25年度までの期間で支障木等の伐採を実施した。

※H19.8.20

陸上自衛隊帯広駐屯地司令に対し、抵触する樹木の撤去をH19年度から段階的に実施したいこと及び告示第12号以前の支障木撤去費用の協議をお願いする旨回答。

※H19.11.26

十勝飛行場障害物調査のための、帯広の森立入許可（11/26～2/28）

※H20.11.12 H20.12.4 H21.1.8

立木補償について自衛隊と事務レベルでの協議を実施。

※H21.7.27 補償対象の立木を確認し、支障木本数が増加して2,105本となった。

※H21.9.11 補償対象木の伐採に同意する。

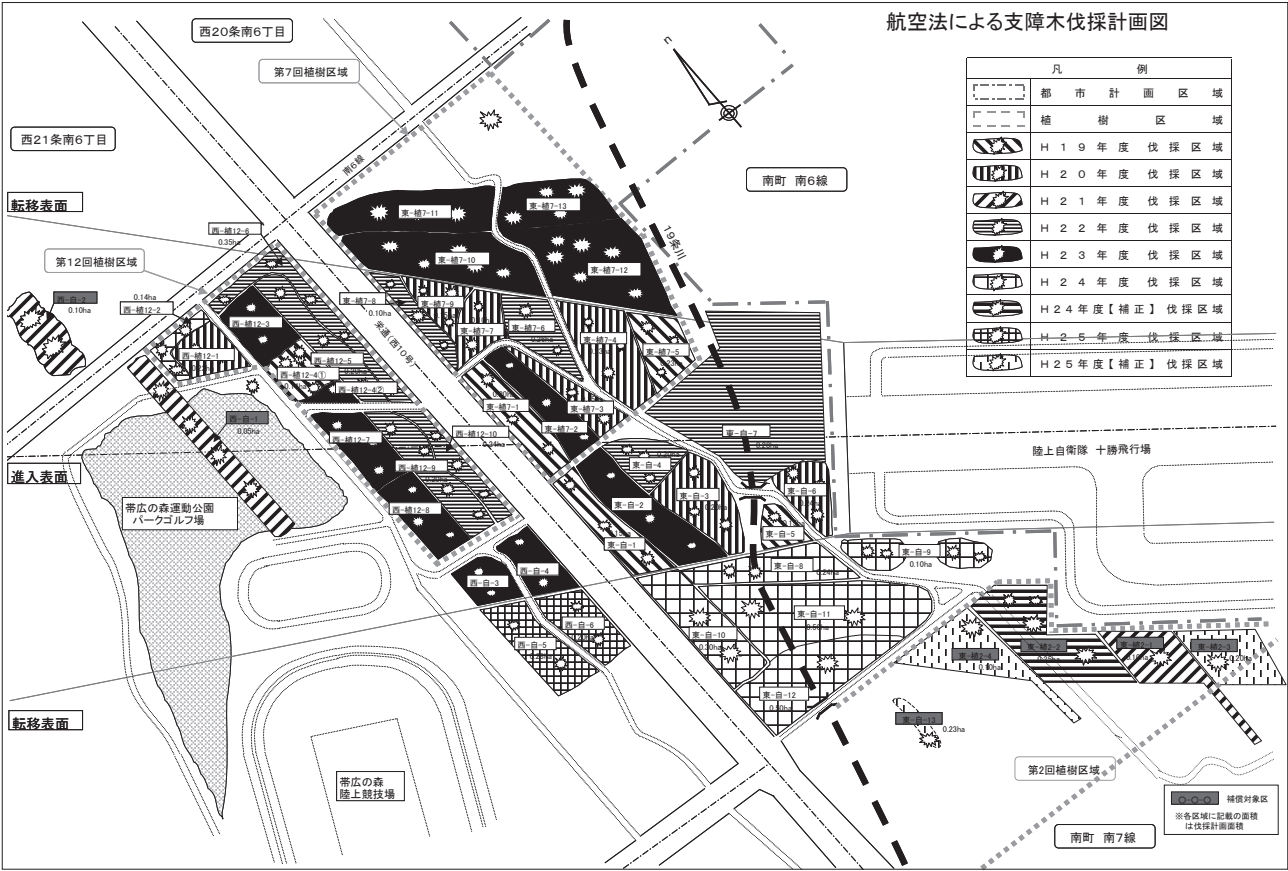
※H24.7.27 補償対象木の伐採に同意する。

※H25.8.7 補償対象木の伐採に同意する。

伐採状況

年度毎の伐採箇所及び本数等は下記のとおりである。

自衛隊より要請のあった支障木の伐採は、平成18年度から着手し、平成25年度をもって完了した。



十勝飛行場周辺の帯広の森づくり事業 支障木伐採の進捗状況【みどりの課所管分】

支障木本数（H20年1月調査）	2,105 本							
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
各年度毎の伐採本数	52	365	449	636	1,005	1,390	1,084	798
内支障木本数	52	257	350	357	164	190	448	287
累計伐採本数	52	417	866	1,502	2,507	3,897	4,981	5,779
内累計支障木本数	52	309	659	1,016	1,180	1,370	1,818	2,105
進捗率% (累計支障木伐採本数/支障木本数)	2.5	14.7	31.3	48.3	56.1	65.1	86.4	100.0

※H18年度は通常間伐で支障木を伐採

※H21年度分にH22年3月実施予定の西10号（栄通）街路樹支障木の剪定18本を入れた

補償対象樹木伐採状況

補償対象樹木総本数	976 本							
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
伐採本数				357			339	280
累計伐採本数	0	0	0	357	357	357	696	976
進捗率% (累計支障木伐採本数/支障木本数)	0.0	0.0	0.0	36.6	36.6	36.6	71.3	100.0

支障木の伐採後、当該用地をどのように維持管理、利活用していくかなどについて、平成18年度に市民の代表からなる「十勝飛行場周辺帯広の森づくり検討会」で検討を重ね、「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり計画」が策定された。

整備計画では、高さ制限に合わせ現在の地区の植生を極力生かした計画とし、「草原」的領域、「里山」的領域及び「広葉樹」の3種類の植生領域に分け、また、環境、景観、市民利用などに考慮した計画とした。

この計画をベースに、平成22年度には、敷地の特徴を生かした人と生き物が共存し、楽しめる森に育てていくための、植生配置区分、利活用計画、整備計画について、「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり基本設計」を作成した。

小さな子どもから大人まで、多くの人が森への興味を生むきっかけとして、広場、遊び場、休憩施設等の活動拠点施設の整備や情報展示を行なうとともに、身近な興味を生むクリ、ハスカップ等の樹木を導入していく。拠点を里になぞらえ、周辺に人が定期的にかかわる里山を配置し、森を楽しめるように

管理負担がかからないように、景観重点地区をしほって設定しそのエリアについては重点的に草花の育成などを行なっていく。

また、生態系にも配慮し、既存の自然環境を活用し動物が移動できる低木林のコリドー（回廊）をつくりだしていく。

～十勝飛行場周辺の帯広の森づくり基本設計より～

■平成23年度

- ①平成22年度伐採エリアの西10号沿い（西側）アイストップ植栽（5月12日）
マユミ、カラコギカエデ、エゾノコリンゴ他
計200本
※植樹は白樺高等学校1年生による。
- ②平成22年度伐採エリアの西10号沿い（東側）アイストップ植栽（6月21日）
マユミ、カラコギカエデ、エゾノコリンゴ他
計30本
※植樹は生長の家による。
- ③平成22年度及び23年度植栽箇所、飛行場周辺管理通路等の草刈り（20,046㎡）
- ④河畔林の再生（5月7日）



19条川沿いのヤナギの挿し木作業

- ⑤平成22年度伐採エリアのオオアワダチソウ防除
(6月19日)

西10号沿い西側のオオアワダチソウ抜き取り作業

- ⑥大型草本花園の観察会

19条川沿いに簡易園路を配置、花の観察会を開催 (7月9日)

■平成24年度

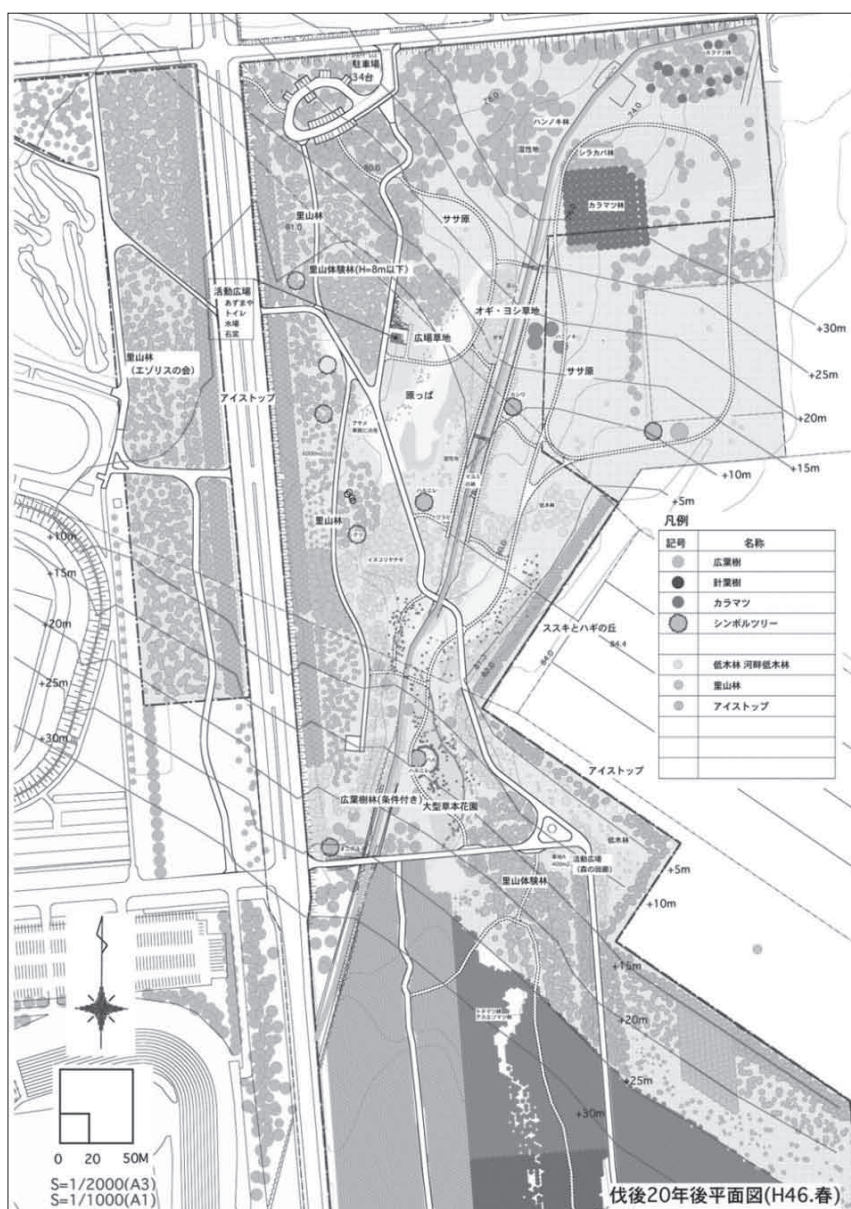
- ①平成22年度及び23年度植栽箇所、飛行場周辺管理通路等の草刈 (26,762㎡)
②旧飛行場施設跡フェンスの撤去

■平成25年度

- ①河西郡芽室町北伏古東6線、東7線の草刈 (20,339㎡)
②散策路の整備 (帯広市南町南7線)
③十勝飛行場フェンス沿いの萌芽処理 (4,300㎡)
④西10号沿い東側のアイストップ植栽
エゾニワトコ、ノリウツギ、マユミ 計30本
⑤自衛隊フェンス沿い越境樹木伐採

■平成26年度

- ①河西郡芽室町北伏古東6線、東7線、帯広市南町南6線、南7線の草刈 (71,080㎡)
②平成24年度伐採箇所補植及び西10号沿い西側のアイストップ植栽
マユミ、ノリウツギ、ツリバナ他 計478本
③散策路の整備 (草刈、散策路造成)



十勝飛行場周辺の帯広の森 伐採後20年後の平面図(十勝飛行場周辺の帯広の森づくり基本設計より)

明治北海道十勝オーバルの整備と利用

屋内スケート場建設の契機

平成10年2月の長野冬季オリンピックのスピードスケート500mにおいて、帯広出身の清水宏保選手が金メダルを獲得したことが契機となり、スケート王国帯広・十勝に自然条件に左右されず、通年利用が可能な400mの屋内リンクを設置したいとの声が高まった。

屋内スケート場建設の経過

平成17年度
・基本計画策定 ・北海道とかち帯広屋内スピードスケート場建設促進期成会 ・基本設計
平成18年度
・実施設計 ・期成会で寄附や募金活動開始
平成19年度
・建設工事等契約締結 本体工事着工
平成21年度
・ネーミングライツ契約 施設愛称名「明治北海道十勝オーバル」 ・工事竣工7月31日（引渡8月12日） ・使用開始・・・9月1日 ・ナショナルトレーニングセンター競技別強化指定拠点

施設規模等

■施設規模

- ・鉄筋造一部鉄筋コンクリート造・地上2階建
- ・延床面積19,218㎡ 建物高19.9m

■施設概要

- ・スケートリンク（400m標準ダブルトラック 幅15m）
- ・冷凍設備（鋼管埋設型パイピングリンク空冷式 冷凍機4台 アンモニア冷媒使用）
- ・観客席（1階正面 軽量スタンド1,000席）
立見2,000人 合計3,000人収容可能
- ・中地多目的広場設置（フットサル3面 テニス6面可能）
- ・トレーニング室設置
- ・ランニング走路設置（リンク外周部 1周470m 幅3m）



オーバル外観



オーバル内観

■過去の国際大会一覧

平成22年1月7日から1月10日
・世界オールラウンドスピードスケート選手権大会アジア地区予選会 ・2010アジアスピードスケート距離別選手権大会・帯広大会
平成22年1月13日から1月17日
・2010世界スプリントスピードスケート選手権大会・帯広大会
平成22年12月7日から12月12日
・2010/2011ワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会
平成24年2月28日から3月4日
・2012世界ジュニアスピードスケート選手権大会・帯広大会
平成24年3月5日から3月10日
・2011/12ジュニアワールドカップファイナル・帯広大会

利用形態等

■利用期間等

- ・通年利用（スケートリンク除く）

開館時間・・・9：00から22：00

休館日・・・毎週月曜日、国民の休日の翌日、年
末年始（12月31日から1月2日）

■スケートリンク

- ・営業時間 7月第4日曜日から翌年3月第1日曜日
（一般開放時間区分あり）

■リンク以外

- ・中地多目的広場、トレーニング室、ランニング
走路、通年営業



国際大会の開催



練習の様子



スケート教室の開催

第62回北海道植樹祭の開催

開催概要

日時：平成23年5月29日（日） 9：00から14:00

場所：帯広の森（帯広の森野球場西側広場）

※植樹会場は西23条南5丁目

天候：雨

参加者数：約1,600人（うち一般参加者1,100人）

植樹面積：2.76ha

植樹本数：2,000本

（樹種別内訳）

アカエゾマツ	600本
シラカンバ（無花粉）	60本
イチイ	20本
ヤチダモ	100本
ハルニレ	800本
ミズナラ	380本
カシワ	40本



高橋北海道知事による記念植樹



記念植樹後の記念撮影



植樹の様子



植樹の様子

関連イベント

第62回北海道植樹祭inおびひろ記念フォーラム

日時 平成23年5月28日（土） 17:30から20:30

場所 帯広市民文化ホール 小ホール

内容

・基調講演「みどりが救う地域と地球」

東京都市大学

教授 涌井 史郎 氏

・事例報告「森のめぐみで地域ブランドをつくる」

地方独立行政法人北海総総合研究機構

林業試験場緑化樹センター

農学博士 脇田 陽一 氏

・パネルディスカッション

「みどりの恵みを生かした産業の可能性inとかち」

コーディネーター

専修大学北海道短期大学

教授 小林 昭裕 氏

パネラー

高野ランドスケーププランニング(株)

代表取締役 高野 文彰 氏

(株)とかちアドベンチャークラブ

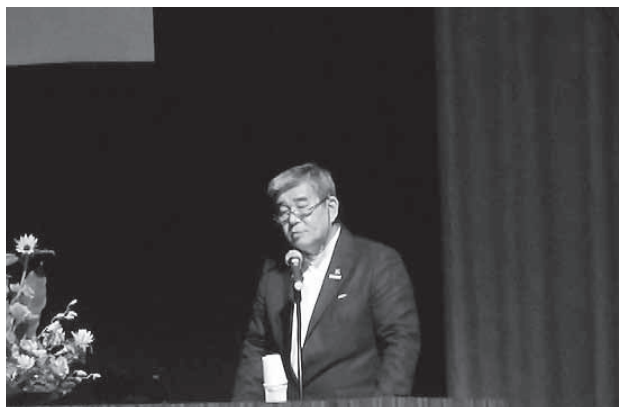
代表取締役 山田 英和 氏

農事組合法人共働学舎

代表 宮嶋 望 氏

帯広市長

米沢 則寿 氏



基調講演



パネルディスカッション

開催テーマ
「美しい 未来を築く 緑の芽」

公益社団法人 北海道森と緑の会主催 平成22年度「緑化活動優秀作品」コンクール
標榜の部 最優秀賞 白糠町立茶路小学校 中3年 篠藤 結加

2011・国際森林年

第62回 北海道植樹祭 in おびひろ

とき 2011年 5月29日 日 9:00～14:00 雨天決行
[式典開始10:00]

ところ 帯広の森(帯広の森野球場西側広場)

式典 10:00～11:00

会場案内図

・開会
・主催者あいさつ
北海道知事 高橋 はるみ
・歓迎あいさつ
帯広市長 米沢 則寿
・ポスター・原画コンクール優秀作品の表彰
・記念品贈呈
・緑の宣言
・国際森林年に寄せて
東京都市大学教授 涌井 史郎
・記念植樹、記念標柱除幕式

植樹祭プログラム

2011・国際森林年

第62回 北海道植樹祭
in おびひろ記念フォーラム

テーマ「つむぎ直そう、自然と人 ―森と農地を舞台として―」

2011.5/28(土) [入場無料]
17:30～20:30(開場 17:00) 帯広市民文化ホール 小ホール

記念フォーラム開催にあたり
日本の富を多岐にわたる分野で、今年は国際森林年になります。この機会に遠く大きなテーマは水の循環や生物資源の保全などの「生態系サービス」をいかにして未来へ継承していくかという点にあります。また、この度の第62回日本大賞では想像を超えた自然の奇蹟をあらためて知らされたとともに、地域の自然特性と共生していくことがいかに重要であるかということも意識させられました。今回の北海道植樹祭や記念フォーラムを通じて地域の自然や森のことを知り、それを次世代につなぐ行動のきっかけとするとともに、地域資源のすばらしさを見出し、まっすぐに生かしたいと思っています。

基調講演[17:40～18:40]
「みどりが救う 地域と地球」
講師 東京都市大学環境情報学部 教授 涌井 史郎氏

事例報告[18:40～19:00]
「森のめぐみで地域ブランドをつくる」
報告者 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 林業政策研究センター 農学博士 脇田 陽一氏
現在利用されていない森の資源を使った地域でのブランド化の研究と、さまざまな事例を紹介していきます。

「森の香り体験」
17:00～17:30/19:00～19:20
場所 小ホール入り口
代表的な樹木のフレグランスウォーターを使って森の香りを体験していただきます。

パネルディスカッション[19:20～20:30] 「みどりの恵みを生かした産業の可能性 in とかち」
森・川・農地など十勝の地域特性とそこから得られる水・土壌や生物資源、これらみどりの資源の持続的利用から成り立つ森林水産業、食品加工業、森などの景観や心豊さを生かした空想や産業利用、また、アウトドアなどの観光業が持続的に成長していくための手法やキーポイントについて、各分野で活躍されているパネラーに議論していただきます。

主催：北海道植樹祭 in おびひろ協賛事業実行委員会 創設：おびひろ 事務局：帯広市みどりの課 TEL:0156-65-4188

記念フォーラムちらし

年表（帯広の森、市内、道内、国内のできごと）

2005年（平成17年）から2014年（平成26年）までの、帯広の森づくりなどに関する主なできごとをまとめた。

年 月 日	森づくりに関する動き	月 日	日本・世界の動き
平成17年 (2005年)	1月31日	帯広の森30周年記念映像「街を抜けると森がある～帯広の森・30年の軌跡」完成	2月17日 中部国際空港開港 3月25日 愛知万博開幕 4月25日 兵庫県尼崎市ＪＲ西日本脱線事故
	5月15日 ～30日	児童・生徒らによる植樹活動（帯広市主催、0.6ha）	
	5月22日	帯広の森自然観察会「春の森あそび」（帯広市・エゾリスの会・森の回廊@十勝主催）	6月1日 クールビズスタート
	8月～	北海道「もりの学校推進事業」により、帯広の森に「げんきの森」区域を設定し、森の少年隊が同区域内で体験活動の取り組みを開始	8月25日 米国南部に過去最大級のハリケーン「カトリーナ」上陸 死者1000人超
	10月1日	帯広の森自然観察会「秋の森あそび」（帯広市・エゾリスの会主催）開催	
	10月17日	第15回帯広の森市民育樹祭（1999年植樹地）市民植樹祭が終了	11月20日 宇宙探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワに着陸
平成18年 (2006年)	3月1日	「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり検討会」設置	1月1日 東京三菱銀行とUFJ銀行が合併、世界最大の銀行へ
	4月	帯広の森に関する情報紙「帯広の森だより」創刊（帯広市発行）	2月23日 トリノ冬季オリンピックフィギュアスケート女子で荒川静香が金メダルを獲得
	4月1日	帯広市「市民団体による帯広の森づくり活動の促進及び支援に関する要綱」施行	
	10日	帯広の森が北海道「北の里山」づくり構想」に基づく「北の里山」に登録される	
	5月	帯広市「（仮称）帯広の森管理センター」整備基本構想策定	5月27日 ジャワ島で大地震、約6000人死亡
	5月21日 ～6月3日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹活動（帯広市主催、0.7ha）	
	6月11日	帯広の森育樹体験ワークショップ（帯広市主催、森の回廊@十勝・帯広みやま会協力）開催	7月5日 北朝鮮が「テポドン2号」を含むミサイル7発を発射
	7月26日	森の少年隊が「平成18年度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」受賞	8月25日 福岡市職員飲酒運転死亡事故、幼児3人死亡
	9月24日	帯広の森自然観察会「秋の森を歩いてみよう」（帯広市主催、十勝グリーンインストラクター協会協力）開催	9月6日 秋篠宮妃が親王を出産、12日悠仁と命名
	9月29日	十勝飛行場周辺の帯広の森づくり検討会が提言書とりまとめ	9月15日 オウム真理教松本智津夫被告の死刑確定
	10月22日	帯広の森育樹体験ワークショップ（帯広市主催、森の回廊@十勝協力）開催	10月9日 北朝鮮が地下核実験実施、国連が制裁
	11月15日	帯広市「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり計画書」策定	
	11月19日	帯広の森自然観察会「初冬の森を楽しもう」（帯広市共催、エゾリスの会協力）開催	12月30日 イラク元大統領フセインの死刑執行
	12月～	財団法人林野弘済会帯広支部が帯広の森で森づくり活動を開始	
	12月4日	市民団体「帯広の森サポーターの会」設立	
平成19年 (2007年)	3月	帯広の森30周年記念誌「帯広の森 私たちと帯広の森づくりvol.2」発行	1月9日 防衛省発足
	4月22日	「帯広の森サポーターの会」が帯広の森で森づくり活動開始	5月6日 仏大統領に保守派のサルコジ氏当選
	5月20日 ～28日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹活動（帯広市主催、0.8ha）	7月29日 参議院選挙にて自民党が歴史的な大敗 8月27日 安倍改造内閣発足 9月14日 月探査衛星「かぐや」打ち上げ成功 9月26日 福田康夫内閣発足 10月1日 郵政民営化開始
平成20年 (2008年)	1月21日	水野トシ氏遺言執行人より、寄付申込書の提出あり	1月30日 中国製の冷凍餃子から殺虫剤などに使用される有毒成分メタミドホス検出
	2月5日	故水野トシ氏に感謝状贈呈	2月19日 海上自衛隊のイージス艦、東京湾口で漁船に衝突
	5月18日 ～27日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹活動（帯広市主催0.9ha）	4月1日 後期高齢者医療制度開始
	7月24日	第1回帯広の森意見交換会開催	5月12日 中国四川省でM8.0の大地震
			8月8日 北京オリンピック開催
			9月15日 米「リーマン・ブラザーズ」経営破綻
			9月24日 麻生太郎内閣発足
			10月7日 南部陽一郎・小林誠・益川敏英らがノーベル物理学賞を受賞
		10月8日 下村脩氏がノーベル化学賞を受賞	
		11月4日 米大統領選、バラク・オバマが当選	
		12月30日 東京・日比谷公園に「年越し派遣村」開設	

年 月 日	森づくりに関する動き		月 日	日本・世界の動き
平成21年 (2009年)	2月25日	第2回帯広の森意見交換会開催 エゾリスの会、森の回廊@十勝が「モニタリング サイト1000」調査受託	3月23日	第2回WBC（ワールド・ベースボール・クラシッ ク）で日本代表が連覇
	5月17日 ～22日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹 活動（帯広市1.4ha主催）	4月5日	北朝鮮がミサイル発射（日本上空を通過）
	7月6日	第3回帯広の森意見交換会開催	4月30日	米クライスターが経営破綻
	9月1日	帯広の森づくり協議会設置 明治北海道十勝オーバル落成	6月25日	マイケルジャクソン死去
	11月17日	森の回廊@十勝が第5回帯広市まちづくりデザイ ン賞（まち育て部門）を受賞	8月6日	裁判員裁判開始
平成22年 (2010年)	2月	第6期帯広市総合計画策定	9月1日	消費者庁発足
	4月1日	帯広の森・はぐくむオープン 指定管理者制度導入（第1期）	9月16日	鳩山由紀夫内閣発足
	4月21日	第9代市長に米沢則寿就任	10月9日	米オバマ大統領ノーベル平和賞受賞
	4月29日	「自然にいいこと、再出発。カンナ・カンナ」が 帯広の森で森づくり活動開始		
	5月16日 ～6月8日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹 活動（帯広市1.3ha主催）		
平成23年 (2011年)	6月8日	「美幌報徳会」が帯広の森で森づくり活動開始		
	10月29日	帯広の森木質バイオマス賦存量調査業務完了	1月12日	ハイチでM7.0の大地震、死者22万人以上
			4月1日	子ども手当法・高校無償化法施行
			6月8日	菅直人内閣発足
			6月13日	小惑星イトカワ着陸の探査機「はやぶさ」が7年 ぶりに地球に帰還
平成24年 (2012年)	3月	十勝飛行場周辺の帯広の森づくり基本設計策定	8月5日	チリのサンホセで鉱山落盤事故
	5月12日 ～29日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹活動 （帯広市2.8ha主催）	9月7日	尖閣列島付近で中国漁船が海上保安庁巡視船に 衝突
	5月29日	第62回北海道植樹祭開催	9月21日	中国、レアアース対日輸出禁止
	10月23日	エゾリスの会が前田歩園賞を受賞	10月6日	根岸英一、鈴木章両氏がノーベル化学賞受賞決定
			12月4日	東北新幹線、新青森まで全線開通
平成25年 (2013年)	2月29日	帯広の森における調査取りまとめおよび帯広の森 リーフレット作成業務完了	1月20日	中国、2010年の国内総生産（GDP）で日本を扱 き世界第2位
	5月15日 ～27日	リーフレット「帯広の森のいま」完成	3月11日	東日本大震災、三陸沖震源でM9.0
	6月2日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹活動 （帯広市0.6ha主催）	3月12日	福島第1原発で爆発。
		帯広の森を巡る散策ツアー開始	5月1日	米軍、オサマ・ビンラディン殺害
			6月30日	政府・与党、消費税増税を含む「社会保障と税の 一体改革」案を決定
平成26年 (2014年)	2月2日	帯広の森展示キャラバン開始	9月2日	野田佳彦内閣発足
	4月1日	帯広の森・はぐくむ指定管理者制度更新（第2 期）		
	5月1日	「帯広の森ファンクラブ」が帯広の森で森づくり 活動を開始	5月21日	金環日食観測
	5月14日 ～26日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹活動 （帯広市0.6ha主催）	5月22日	東京スカイツリー開業
	8月8日	「モニタリングサイト1000」のカメラに特定外 来生物のアライグマが確認される	7月27日	ロンドンオリンピック開幕
平成27年 (2015年)	10月5日	森の少年隊が全国緑の少年団活動発表大会優良 賞、森の少年隊指導委員会が緑の少年団育成成功労 賞をそれぞれ受賞	10月8日	京都大学山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞受 賞
			12月26日	第2次安倍内閣が発足
			1月20日	米オバマ大統領再任
			2月25日	韓国朴槿恵大統領が女性初の大統領として選出
			5月23日	三浦雄一郎が世界最高峰・エベレストに史上最高 齢（80歳7ヶ月）で登頂に成功
平成28年 (2016年)			6月22日	世界遺産に富士山が登録される
			10月1日	消費税増税が決定。2014年の4月から消費税が 8％へ
			12月4日	和食が無形文化遺産に登録されることが決定
			12月14日	中国の無人探査機「嫦娥（じょうが）3号」月面 着陸に成功
			1月6日	少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」開始
平成29年 (2017年)	2月28日	陸上自衛隊十勝飛行場の支障木撤去完了	2月7日	第22回冬季五輪ソチオリンピックをロシアで開催
	4月13日	米沢則寿が市長に再選 普通選挙法施行後、初の無投票選挙	3月1日	ロシアによるクリミア侵攻
	5月13日	児童・生徒、海外からの研修生らによる植樹活動 （帯広市0.5ha主催）	6月13日	サッカー FIFAワールドカップブラジル大会開催
	8月28日	帯広の森40周年記念実行委員会発足	9月27日	御嶽山噴火
	11月30日	「帯広の森40周年記念ティーチ・イン」開催	12月13日	小惑星探査機「はやぶさ2」打ち上げ成功
平成30年 (2018年)			12月24日	第3次安倍内閣発足

